

5 ソーシャルキャピタルの醸成状況

(1) 単純集計から

- ① ほとんどの人（9割以上）が、人と直接会って話をしたり、一緒に活動したりする、いわゆる顔と顔の見える関係が大切だという意識が高い。
- ② ほとんどの人が、地域の人と挨拶を交わし、良好な付き合いができています。
- ③ ほとんどの人が、地域の人、または友人・知人等との交流があること
- ④ 地域の人には信頼できると感じている人は2割弱、一般的に人は信頼できると感じているのは1割強。
- ⑤ 地縁的な活動には6割弱の人が参加している。
- ⑥ グループやサークル活動には5割強の人が参加している。
- ⑦ ボランティア・NPO・市民活動には4割強の人が参加している。
- ⑧ 活動を通して、人のつながりができたと感じている人が多い。
- ⑨ 地域の祭り・イベント・伝統行事等には6.5割の人が参加している。
- ⑩ 交流するときに最も使われているのは公民館である。
- ⑪ 6割強の人が地域のまとまりを感じている。
- ⑫ 7割強の人が地域への愛着や誇りを感じている。
- ⑬ 8割以上が今の地域に住み続けたい（どちらかと言えば住み続けたい）と感じている。

(2) 全国調査との比較から

- ① 地域の人と生活面でも協力したり、日常的に立ち話をしたりする付き合いをする人は全国を上回っている。
- ② 友人・知人との付き合いが日常的にある人は、全国の割合を大きく上回っている。
- ③ 一般的に人は「信頼できる」と思っている人は、本県が全国を若干上回っている。
- ④ 地域活動に参加している人の割合は、すべての活動分野で、本県の方が全国よりも高い。
- ⑤ 地域活動への参加頻度（月1回以上にあたるすべての合計）は、すべての活動分野で全国の方が高い。